

紀北町で音作品制作

米国から女性芸術家



便ノ山神楽の説明を受けるキアンガ・フォードさん
(中央) = 25日夜、紀北町海山区便ノ山の便ノ山集会所で

紀北地区のまちづくり
ス(中村レイ理事長)の
に取り組みNPO法人ア
アーティスト・イン・レ
・ピース・オブ・コスモ
シデンズ事業で、米国人

女性芸術家キアンガ・フ
オードさん(36)が24日
に来町し、熊野古道や町
内の街並みなどを題材に
音だけの作品制作のため
の収集に取り組みしてい
る。

アーティスト・イン・
レシデンズは芸術家が町
内に滞在し、創作活動を行
うことで地域のひととの
交流や地域づくりに役立
てるのが目的。

キアンガさんはロック
フェラー財団の財政支援
を受けるアジアン・カル
チュラル・カウンシル
(ACC)の奨学生で滞
在費などはすべてACC
が負担する。

来日は初めて。同NPO

0 法人が紀伊長島区東長
島で運営する生活体験施
設「ゆうがく邸」に6月
7日まで約2週間滞在
し、地域のひととの交流や
自然体験などで「iPod
d」などで聞ける音の作
品制作に取り組みとい
う。日本での滞在は3カ
月で、紀北町のあとは東
京で活動する。

25日夜は海山区の便ノ
山集会所で便ノ山神楽を
見学した。便ノ山神楽保
存会(会長・玉津正人区
長)の会員6人が神楽の
「悪魔払い」や「神来
舞」を披露した。

会員から神楽の由来や
獅子頭の持ち方、笛、太
鼓の演奏の仕方などの説
明を受けて体験もした。
竹笛の音を出すのに一生
懸命取り組んだ。キアン
ガさんは「とても面白
い。日本の伝統芸能に触

れることができてもよかつ
た」と話していた。
キアンガさんはロサン
サンセルス校卒業。美術
1ズ校に在学中。

セルス在住。2003年 修士取得。現在はカリフ
にカリフォルニア大学ロ
オルニア大学サンタクル
セルス校卒業。美術
1ズ校に在学中。